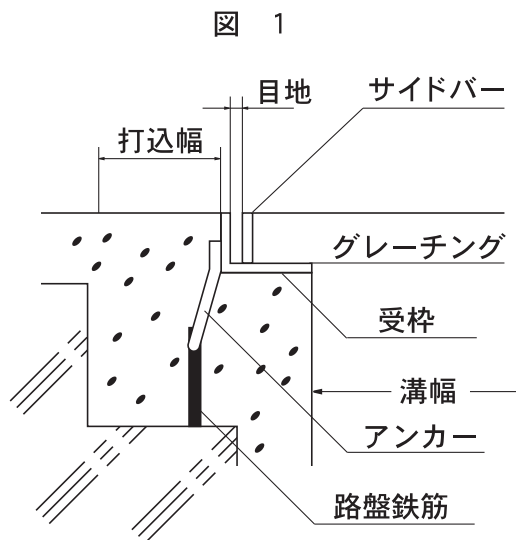


# 受枠の施工要領

## コンクリートの打ち込みについて

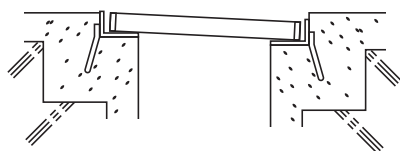
- ①受枠のコンクリートの打ち込み幅は、100mm以上とって下さい。
- ②路盤鉄筋がある場合は、アンカーを鉄筋に溶接して下さい。
- ③受枠とグレーチングの目地は、2mm以上になるように調整して下さい。
- ④受枠の上面は、路面と同一レベルとし、決して路面より高くないようにして下さい。(図1)



## 受枠の左右レベルについて

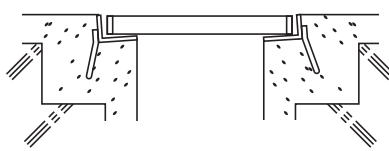
- ①受枠の左右の段差をなくし、角度を正しく、水平度を保つように施工して下さい。(図2、図3)
  - ②左右の受枠に平鋼を仮溶接していただきますと、左右のレベルが正確に保持され易くなります。(図4)
- 特に、傾斜面の施工の場合には、この方法が有効です。

図 2



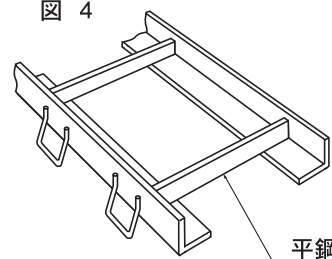
左右の段差不良

図 3



取付角度不良

図 4

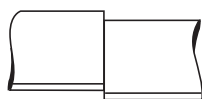


平鋼

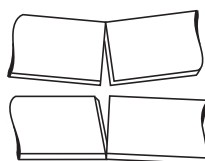
## 受枠断目の断差と前後のレベルについて

- ①前後の受枠については、断目の段差をなくし、レベルを正しく保つように施工して下さい。(図5)
- ②前後の受枠の断目の下に、山形鋼または平鋼を溶接していただきますと、コンクリート工事にも精度が保てます。(図6)

図 5

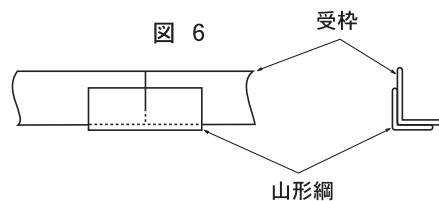


断差不良



前後の水平不良

図 6



山形鋼